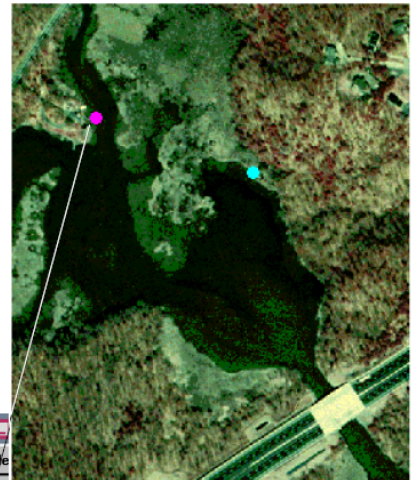
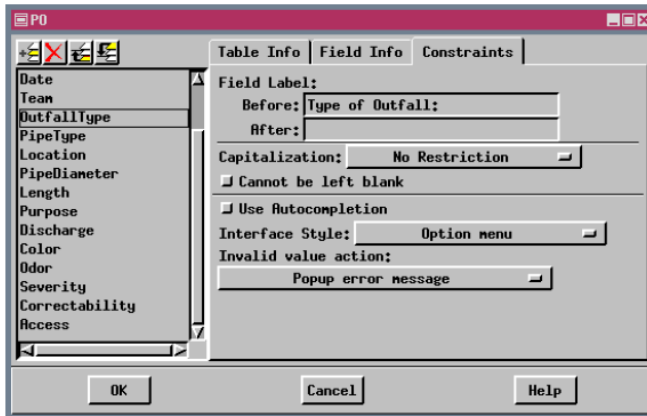


データベースのフィールド値の制約

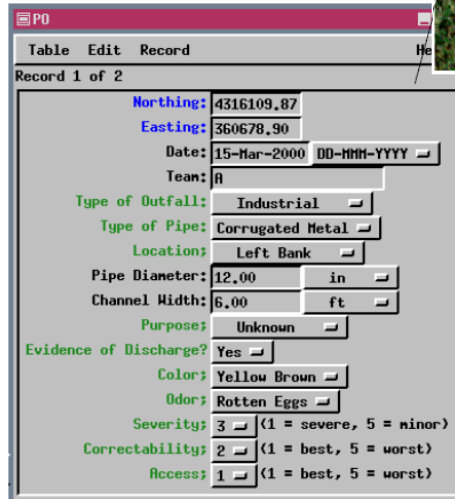
ご存知でしたか?... フィールドに対して制約を設定することで、入力するデータの値を制限できます。

データベースのフィールド値の制約によって...

- 入力可能な項目を示す値一覧から選択できます。
- 許容する値の範囲を制限できます。
- 初めに入力した数文字に基づくオートコンプリート機能を有効にできます。
- 各フィールドに対して既定値(デフォルト値)を表示させることができます。
- キーボードを使わずに、選択肢から選んでフィールドを入力することもできます。
- 誤った入力に対してエラーメッセージを出すことができます。



フィールドの制約は単一レコード表示でデータ入力する場合のみ適用されます。[制約 (Constraints)] タブはテーブルの定義 (V2011 ではテーブルプロパティ) の中にあります。



この例では、ピンマップに対してポイントを追加しています。

データベースの制約機能を使う方法

要素の右ボタンメニューから [テーブルの新規作成 (New Table)] を選択、新規テーブルを作成します。[フィールドの追加 (Add Field)] アイコンを押してフィールドを追加してから、以下の操作を行います。

- [フィールド (field)] タブの [値一覧の設定 (Setup Picklist)] アイコンをクリックして、値一覧の選択肢を持つテーブルを作成します。
- [制約 (Constraints)] タブを選んで、[オートコンプリートを使う (use autocompletion)] トグルをオンにしてオートコンプリートの値を持つテーブルを作成します。
- フィールドの制約付きのテーブルを作成し、希望通りに設定します。
- 単一レコード表示でテーブルを開きます。
- 要素を追加や選択してから、単一レコード表示のテーブルで選択メニューから指定したり、適宜キーボードを使ってデータ入力します。

さらに知りたいことがあれば...

下記の入門書をご覧ください

リレーショナルデータベースの管理
(Managing Relational Databases)



(翻訳) 株式会社 オープン GIS
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
紀伊国屋ビル 1F
Tel: (03)3623-2851
Fax: (03)3623-3025
E-mail: info@opengis.co.jp